

令和5年度

地域経済状況調査報告

池田町商工会

I. 調査目的

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、感染症流行前の売上高水準に戻りつつある事業者もありますが、業種によっては引き続き厳しい状況が続いています。また、物価高騰による収益への影響や深刻な人手不足等といった課題にも直面しています。

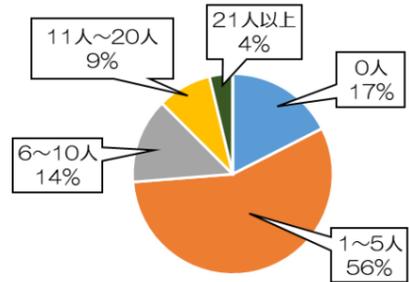
池田町商工会では、池田町内事業者の事業計画や戦略立案、経営改善に役立つ基礎データとして活用いただく目的で、毎年「地域経済状況調査」を実施しています。また、本調査により、商工会としても当町の小規模事業者の事業概況やニーズについての確に把握し、今後の経営指導及び町内事業の活性化に活用することが期待できます。

II. 調査概要

調査対象者	池田町内の小規模事業者
調査方法	ヒアリング（聴取式）または、アンケート用紙に記入していただく形（留置き式）で実施
調査数	80社 ※池田町商工会会員小規模事業者から抽出 （建設業関連：20、製造業関連：20、流通販売業関連：20、サービス業関連：20）
調査項目	業種、景況感（短期・中期）、経営課題（売上、利益動向、財務動向、人材動向、事業承継動向）等
調査期間	令和5年9月
比較対象 （参照）	①岐阜県：岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」 R5年7～9月期（来期見通しは、R5年10～12月期の見通し） ②全国：「中小企業景況調査」（中小企業基盤整備機構） R5年7～9月期（来期見通しは、R5年10～12月期の見通し）

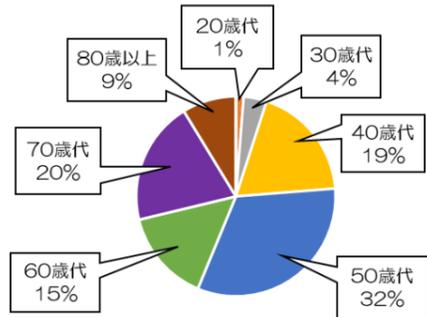
III. 調査結果

1. あなたの事業に関わる従業員数は何人ですか（役員・家族従業員含む）。



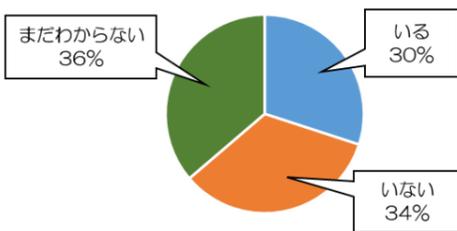
全体の小規模事業者の従業員数は、「0～5人」が約7割となっている。代表者のみもしくは代表者と数人の従業員での中小零細企業が多いことが窺える。特に、製造業は他の業種に比べて「0～5人以下」の占める割合が45%と低く、他の業種に比べて従業員数が多い中で、事業展開している。

2. あなたの事業の経営者の方の年代は、次のうちどれですか。



全体の小規模事業者の経営者の年代は、60歳代以上が44%を占めている。前々年度の調査から見ても、毎年割合が低下している。事業承継は経営資源の散逸を防ぐとともに、経営者の世代交代により、起業を変革する好機とも言える。事業承継を適切に実施し、次世代の後継者に引き継ぐことで、中小企業の更なる成長が期待される。

3. あなたの事業に、後継者はいらっしゃいますか。



全体では、事業の「後継者がいる」と回答した割合は、3割となっている。後継者が「いない」・「まだわからない」が7割ある。事業者がまだ若いために「まだわからない」という回答も一部あるが、事業の持続化に向けて、円滑な事業承継をどう考えるか念頭に置くことが求められる。

4. 今期の状況は前期と比較してどうですか。

「D1」とは・・・「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を引いた数。「悪い」が多いとマイナスになります。

【池田町内と他地域との比較】

	〔建設業〕			〔製造業〕		
	池田町	岐阜県	全国	池田町	岐阜県	全国
売上額	30.0%	27.7%	15.3%	5.0%	-2.8%	-3.3%
採算（経常利益）	35.0%	49.2%	28.0%	20.0%	24.2%	22.4%
業況（自社）	10.0%	43.8%	11.1%	10.0%	20.3%	14.8%

	〔流通販売業〕			〔サービス業〕		
	池田町	岐阜県	全国	池田町	岐阜県	全国
売上額	5.0%	3.7%	-7.5%	55.0%	1.2%	2.4%
採算（経常利益）	20.0%	32.5%	28.8%	0.0%	26.1%	19.2%
業況（自社）	25.0%	23.1%	16.3%	5.0%	-9.2%	-6.6%

町内事業者の売上額は、サービス業が前期と比べ良好なのに対し、その他の業種は売上額が悪化している。採算（経常利益）では、全業種においてDI値はゼロ以下となっているものの、業況は流通販売業が最も悪い。町内全体で見ると、サービス業においては売上額・採算・業況とも前期マイナスから大きくプラスへと改善している。他の業種については、状況が悪いと言っても全国や岐阜県と比較するとまだ良い状況である。

5. 来期の状況は今期と比較してどうですか。

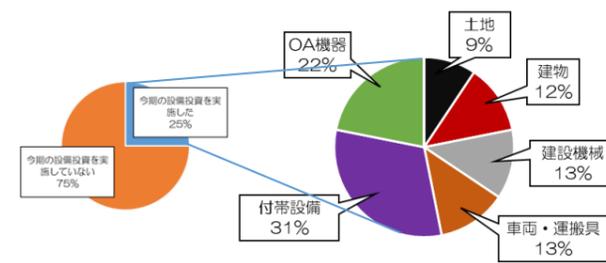
【池田町内と他地域との比較】

	〔建設業〕			〔製造業〕		
	池田町	岐阜県	全国	池田町	岐阜県	全国
売上額	5.0%	28.1%	15.8%	5.0%	-2.9%	-6.1%
採算（経常利益）	0.0%	39.0%	23.5%	20.0%	24.9%	21.3%
業況（自社）	0.0%	41.2%	11.5%	25.0%	11.8%	-4.6%

	〔流通販売業〕			〔サービス業〕		
	池田町	岐阜県	全国	池田町	岐阜県	全国
売上額	5.0%	-6.7%	-4.7%	25.0%	-2.9%	6.1%
採算（経常利益）	0.0%	37.6%	24.5%	10.0%	26.5%	17.7%
業況（自社）	0.0%	27.5%	-6.7%	10.0%	10.5%	-1.2%

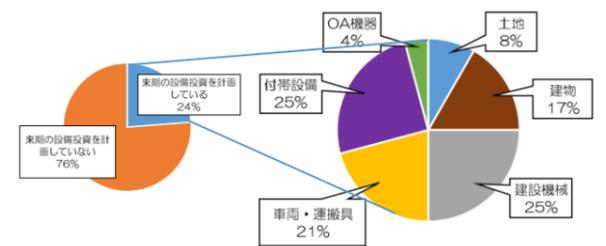
来期の状況は、岐阜県や全国の状況と比べても製造業以外の業種については良好になると予想している。製造業においては、原材料価格・燃料価格高騰などの社会情勢の変化等がある中、売上はそれほど高く望めず採算や業況は悪化すると予想している。今後の社会情勢も踏まえ、いかにビジネスチャンスを獲得するかが、今後の事業継続に重要となっている。

6. 今期の新規設備投資は、どのような状況ですか。



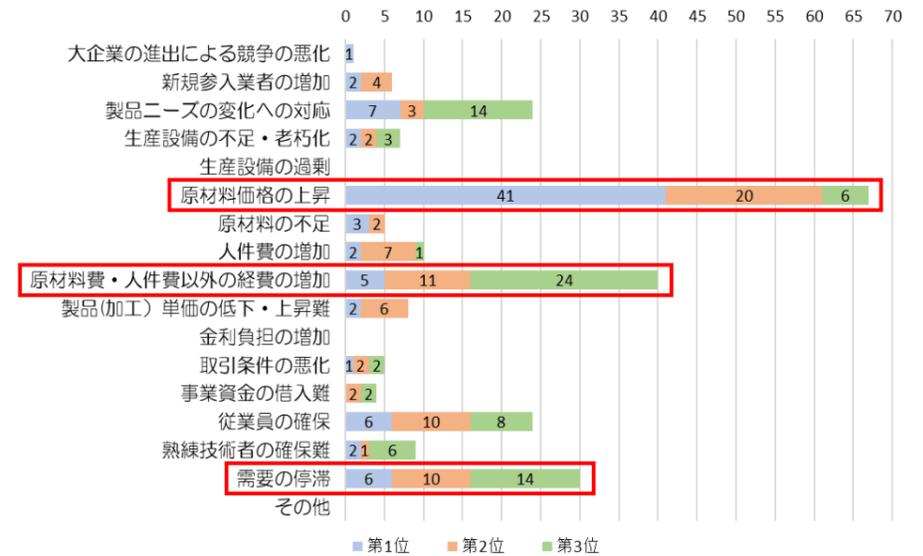
今期の新規設備投資の実施状況は、前年度調査と比べ10ポイント減の25%となっている。前年度調査にはなかった「土地」が、建設業・製造業において回答されており、積極的な設備投資があったことが窺える。

7. 来期の新規設備投資は、どのような状況ですか。



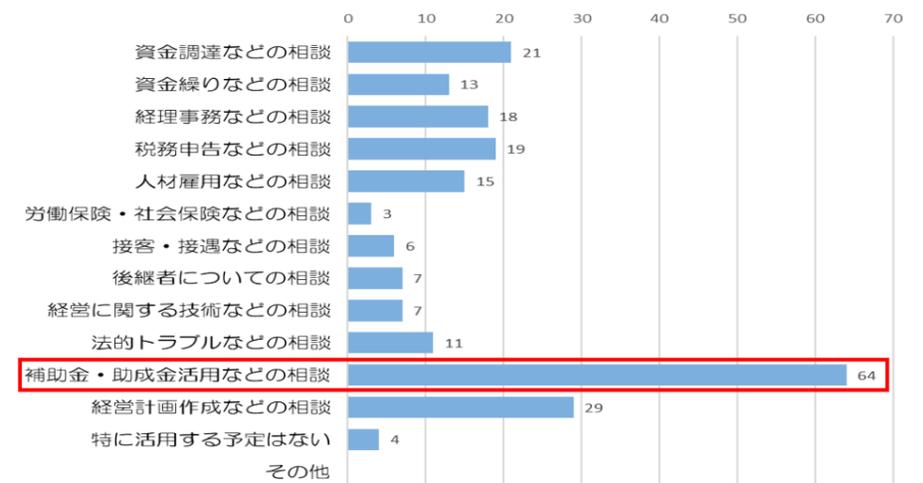
来期の新規設備投資として、24%が新規設備投資を計画している。土地、建物、建設機械、車両・運搬具について、来期も積極的な設備投資を行うことが予定されている。

8. 直面している経営上の問題点を3つ以内で選び、重要度の高い順に順位を記入してください。



現在直面している経営上の問題点の総数としては、前年度調査と同様「原材料価格の上昇」がもっとも多く、次いで2位が「原材料費・人件費以外の経費の増加」、3位が「需要の停滞」となっている。コロナ禍から経済活動が正常化に向かう一方、原材料価格やエネルギー価格の高騰に加え、人件費の上昇等、コスト負担は増加が続いている。コストに見合う十分な価格転嫁が行えていない中、いかにしてお客様を獲得し売上を上げるかが事業継続の「鍵」と言える。また、特に建設業や製造業では従業員の高齢化に伴う新たな従業員の確保が重要となっている中、生産性向上をいかに達成できるかが課題と言える。

9. 今後、商工会をどのように活用したいですか。



今後、商工会の活用内容としては、各種相談内容があるなか「補助金・助成金活用などの相談」への回答が多い。小規模事業者等向けの補助金・助成金には、業況が厳しい中からの脱却や新たな販路開拓、生産性向上など様々な種類がある。事業者としてそれらを上手に活用して「売上拡大」・「生産性向上」・「販路開拓」・「人手不足解消」などに役立てられると良いでしょう。池田町商工会としても各種補助金等についての情報を事業所様に提供しています。事業所様から各種相談を頂いた際には、ご訪問等してお悩みやお話を聞かせて頂き、今後どのようにサポートすると良いかといった支援方法について、ご説明・ご提案させて頂いております。事業所様に寄り添う「身近なパートナー」として、各種支援や役立つセミナー等を行っておりますので、お気軽にご相談・ご参加いただき、自社の経営に生かして頂ければと思います。